

Global Session(2023年) 361回目

期日:2023年3月26日(日)10:30~12:00

場所:ガレリア3階会議室

ゲスト:大野友アンドレイアさん(ブラジル出身・箕面国際交流センター職員)

コーディネーター:募集中

タイトル:タイトル:「二つの文化を生き来しながら生きる・正解はだれのものか」

参加費:600円 参加者:10名程度

アンドレイアさんの話の概要



大野友アンドレイアさん

「ブラジルに帰りたい」と言っても、「あなたはもう日本人みたいなものですよ。ブラジルに何があるの？お母さんも日本でしょ。ブラジルにいるのは弟くらいでしょ。」とされます。

私はブラジル人。そう思ってきたのに、誰も信じてくれない。

顔が日本人だからでしょう。じゃあ、この顔を持っていたら日本国籍をくれるのですか？

そう。もらえないのです。

おじいちゃん、おばあちゃん、親が日本生まれ、日本育ち、日本国籍でも、日本に住むには在留資格が必要なのです。

この顔で、日本国籍を取ったら「私は日本人です」と言えるのでしょうか？

このようなモヤモヤや戸惑いは日々、周りや自分の中での言葉を紡ぐことで和らいていきます。その言葉を失った場合、どうしましょう。その文化という土台が、歴史の波に何度も押し寄せられ、アイデンティティが多様で自由であった場合、どうしましょう。

人は誰もが多角的な側面を持ち、制度や社会からの壁や制限へのレスポンスもみんな異なります。ご縁あって、皆さんとお話をする機会をいただき、一人の例として相互理解の機会になればと思います。

4月のGlobal Session 4月23日(日)10:30~12:00 ガレリア3階 会議室

ゲスト:王 森平さん(中国出身・キャリアカウンセラー・亀岡市在住)

5月:張穎さん(中国出身・日本語教師・母語支援員)

6月:オジュグさん(ポーランド出身・大学講師・大津市在住)

7月:濱田雅子さん(元武庫川女子大教授・アメリカ服飾社会史研究会会長)25回目

8月:村田英克さん(JT生命誌研究館・表現を通して生きものを考えるセクターチーフ)

9月:玉野井麻利子さん「アメリカ(人)は、日本(人)をどう見ているか」

申し込み:児嶋きよみ(オフィス・コン・ジュント主宰)

e-mail:Kiyomi-Kojima@gaia.eonet.ne.jp